

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

神埼市のゆるキャラ
くねんワン・くねんニャン



かんざき
佐賀県 神埼市
が応援するふるさと名物

神埼の水の恵みブランド

筑後川水系の豊かな水の恵み
水が育む豊かな産物
筑後川の水産物
特徴的な観光資源



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成31年3月22日

地域の
プロフィール

地 勢

神崎市は、北部九州の佐賀県東部に位置し、西に県都の佐賀市、北は脊振山を隔てて福岡県福岡市、南は九州の大河、筑後川を挟んで福岡県久留米市・大川市と接しています。

地形は、脊振山を最高峰とする北部の脊振山系と、筑後川水系の河川が潤す肥沃な平野からなる南部の穀倉地帯とに分かれ、縦に細長い形を成し緑豊かな環境が広がっています。

歴史的にも、旧長崎街道神崎宿をはじめ、歴史的な建造物や街並みが現存しており、以前は、筑後川水系の豊かな水の恩恵を利用した、水車による精米・製粉・製材等も盛んに行われてきました。

このような自然と歴史の中で創り上げられた地域資源を磨き、活用することで人の流れ（周遊・ツーリズム）や交流を創出するとともに、神崎市の魅力を全国に情報発信することにより、更なる地域経済活性化の起点となるよう応援宣言を行います。



かんざき

佐賀県神崎市



脊振山系からの眺望

ふるさと名物(1)～水が育む豊かな産物～

主な地域資源

◆米・麦・大豆・園芸作物

豊かな農作物と加工品群



合わせみそ



米粉ケーキ

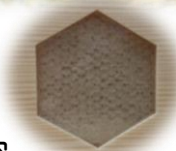


しいたけ

かんざき
神崎市では、農業を基幹産業と位置付け、日本有数の穀倉地帯である「筑紫平野」で生産されている、米（もち）・麦・大豆をはじめ、アスパラガスやいちご等の園芸作物や、野山に咲き誇る様々な花の蜜から生み出される、蜂蜜の生産・加工、干し柿作り、しいたけの菌打ち体験など農林水産物の生産や加工品群について、多種多様な展開を図っています。



蜂蜜



巣蜜

アスパラガス



漬物



いちご

ジュレ



柿

干し柿



おもち

主な地域資源

◆エツ・佐賀のり

ちくごがわ

ありあけかい

筑後川・有明海の水産資源



「エツ」は、カタクチイワシ科に分類される魚の一種で、日本においては、筑後川河口域の固有種とされています。

『弘法大師（空海）が筑後川を渡る際、渡し舟の船頭に払うお金がなく、近くに生えていたヨシの葉を取り、それを川に浮かべると、「エツ」に変わった。』との伝説があります。「エツ」は、小骨が多い魚なので、骨切りにして刺身、唐揚げのほか、南蛮漬けなどにして食されます。

九州最大の筑後川をはじめ、複数の大きな川から養分がたっぷり注がれる栄養豊富な有明海は、河川水と海水が混じりあうことで、塩分濃度が低くなり、柔らかくくちどけのよい「のり」ができあがります。また、その干満差により、交互に海水と太陽の光を受ける有明海の自然の恵みと、手塩にかけて育てる生産技術により「佐賀のり」には旨味と栄養が凝縮しています。



ふるさと名物(3)～特徴的な観光資源①～

主な地域資源

◆まちなみ・建造物 歴史・文化遺産



よしのがりいせき
吉野ヶ里遺跡

かんざき せふりさんけい
神埼市は、脊振山系の豊かな自然に恵まれ、新緑、紅葉の名所となっている国の名勝「九年庵」、弥生時代の大規模な環濠集落（環壕集落）跡である「吉野ヶ里遺跡」をはじめ、「王仁博士顕彰公園」等の歴史遺産や、「浄徳寺のシャクナゲ」等の自然の風景地等の観光資源が数多くあります。



脊振山系



にいやまじんじゃ
仁比山神社



春

くねんあん
九年庵



秋



わにはかせけんしょうこうえん
王仁博士顕彰公園



じょうとくじ
浄徳寺のシャクナゲ

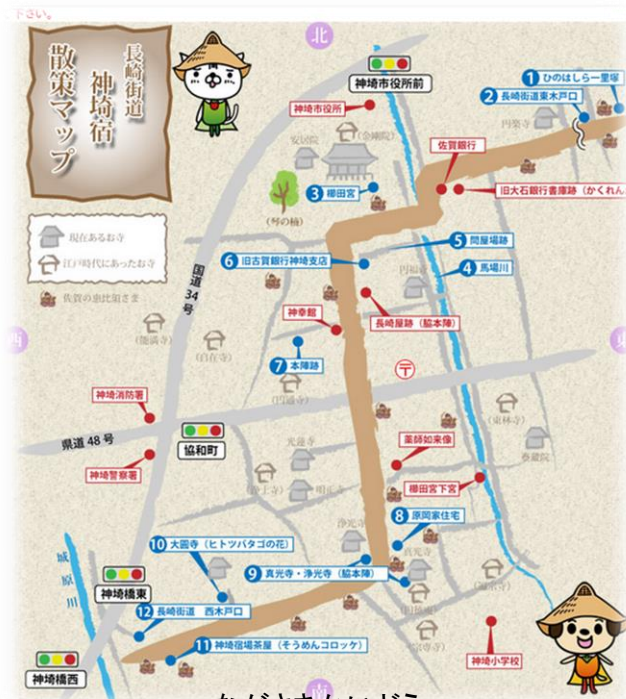
ふるさと名物(3)～特徴的な観光資源②～

主な地域資源

◆まちなみ・建造物 歴史・文化遺産

ながさきかいどう

その他にも、「長崎街道」のまちなみや、長崎街道で、現在でも唯一築山を残す「ひのはしら一里塚」、国の登録文化財である「旧古賀銀行神埼支店」、「『次郎物語』作者の生家であり第一部の舞台にもなった「下村湖人生家」等の郷土の偉人の関連施設、毎年10月に高志神社に奉納される鷲流狂言、「高志狂言」等の観光資源が数多くあります。



ながさきかいどう
長崎街道 (神埼宿)



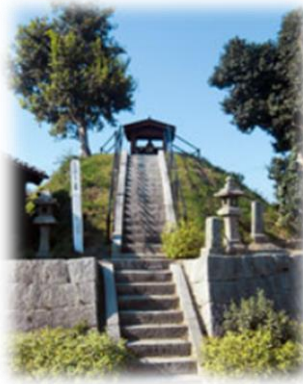
旧古賀銀行神埼支店



しもむらこじんせい か
下村湖人生家



たかしきょうげん
高志狂言



ひのはしら
一里塚

神崎市と地元の取り組み（1）

主な地域資源

◆水を活かした観光と体験 精米・製粉体験とまつり



おさきにんぎょう
尾崎人形



すいしゃのさと ゆうがくかん
水車の里 遊学館

昭和30年頃までは、城原川から引き込んだ豊富な水を利用した水車を活用し、多数の水車で精米、製粉、製材等が盛んに行われていました。

現在でも、春と秋の九年庵の公開時期には、水車を利用した精米や製粉体験を行っており、3連水車をイメージした遊学館では、水車の歴史資料を展示しています。

その他にも、神崎市では、尾崎人形の絵付け体験等、様々な体験をする事が出来ます。



ハンギーまつり

毎年城原川の上流部の脊振町では、「せふりわんぱくまつり」が開催され、ヤマメのつかみ取り体験ができる他、下流部の千代田町で開催される「城原川ハンギーまつり」では、菱を収穫する時に用いるハンギー(木製のタライ)を漕いでタイムを競うレースをはじめ、水と親しむプログラムが開催されています。



神崎市と地元の取り組み（２）

◆カヌー体験



◆カヌー体験

神崎の豊かな水や自然に触れ合える機会を増やすため、神崎で盛んなスポーツの一つであるカヌーを、初心者でも簡単に楽しく体験できるよう、専門の指導者によるカヌー教室を毎年実施し、子どもたちにカヌーの魅力を伝えたり、水辺の安全について勉強したりしています。



◆筑後川・矢部川河川美化（ノーポイ）運動

◆筑後川・矢部川河川美化（ノーポイ）運動

「ノーポイ」運動は、昭和62年から毎年行われており、流域沿線の13の市や町が主体となり実施されている河川の一斉清掃で平成30年で33回目となります。

例年、神崎市を含め15,000人前後の参加があり、筑後川や、有明海の環境整備に努めています。



独自の支援策

◆支援制度

《神崎市地域特産物再発見事業補助金》

神崎市では、地域の特性を活かし、新たに地域資源を洗い出し、その資源を活かした新たな特産物を作り出す取り組みを実施する団体に対して補助金を交付しています。

現在までに、4団体の交付実績があり、みそや漬物等の6次産業化を図り、生産者が加工、販売にも取り組まれています。



こじかの白雪みそ こじかの高菜漬け



◆販路拡大

《ふるさと納税の活用》

ふるさと納税の返礼品として、「お米」「いちご」「アスパラ」「蜂蜜」「佐賀のり」などは大変人気が高く好評をいただいています。

また、返礼品として、「九年庵」の特別公開を実施しており、こちらも好評をいただいています。

今後も新たな商品など積極的な活用を図り、全国に情報発信を行います。